

ちの市議会だより

議会改革の推進に向けて

茅野市議会議長 小松一平

諏訪ブロック三市議会議員研修会開催

平成28年11月7日、岡谷市・諏訪市・茅野市の全市議会議員による議員研修会が茅野市のマリオローヤル会館において開催されました。

講師に議会運営の第一人者であります野村稔先生をお迎えし、市民目線での議会改革について研修を受け、改めて市民に寄り添う開かれた議会の重要性を再認識したところであります。

議会の究極の目的は、市民の幸せ向上のためにあることを深く認識し、市民のための議会、市民に寄り添う議会を目指して、議会改革を推進し市民の負託に応えていくことを確認致しました。

今後とも、市民の皆様からの一層のご意見、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げます。



議会報告・意見交換会実施

平成28年9月30日に、茅野市役所議会棟大会議室において、35名の市民の方にご参加いただき、議会報告会・意見交換会を開催いたしました。

テーブル別グループ懇談では、多くの貴重なお意見等をいただき誠にありがとうございました。以下にいただいた意見の一部をご紹介します。(詳細は茅野市ホームページをご覧ください。)



グループに分かれて意見交換

議会に関するご意見 ※(意見)…市民の方のご意見 (回答)…議員からお答えした回答

- (意見)議会報告会の開催について、市内数カ所に分けて開催して欲しい。
- (回答)地域や団体からご要望いただければ議会で出張し、意見交換会を開催します。
- (意見)市議会の話は、仲間内でありしめない。茅野市議会がもっと身近に感じられれば良い。市民が政治に参加したくなるような仕組みを考えたらどうか。
- (回答)茅野市議会の活動や市政にもっと興味を持ってもらえるよう茅野市議会の組織である議会活性化委員会ですべての方法を検討しています。

市政に関するご意見

- (意見)有害鳥獣対策として、被害地域全域に防護柵を作ってほしい。防護柵が壊れているところは修繕してほしい。
- (回答)シカ対策として、テキサスゲートや防護柵を設置していますが、被害状況等市民の方からも情報提供をお願いします。
- (意見)縄文教育を今後どのように発展させていくのか。縄文教育を通じて郷土愛を育ててほしい。
- (回答)縄文時代や縄文人の豊かな心を学び、生きる力を培うことを目的に、市内小中学校では、「縄文科」としてクラスごと特色ある取組をしています。

第20号
2017年2月21日

発行/茅野市議会
編集/議会広報部
〒391-8501
長野県茅野市塚原二丁目6番1号
☎ 0266-72-2101
FAX 0266-73-7936
<http://www.city.chino.lg.jp/>

WEBで検索

委員会	34
本会議	33
議決結果	34
陳情	33
陳情議決結果	34
一般質問	37
通告	36
常任委員会	38
行政視察報告	39
議員連盟	42
の活動(健康議連)	42
議員連盟の活動(買い物議連)	43
編集室	43
より	43

平成28年12月定例会のあらまし

茅野市議会12月定例会は、11月28日(月)から12月19日(月)までの会期で開催されました。

補正予算や条例など19議案が審議され、いずれも原案のとおり可決されました。

また、請願1件、陳情5件が審議され、そのうち陳情3件が採択され、意見書案は3件が可決されました。各議案の一覧及び議決結果は、37ページをご覧ください。

委員会における主な議案の審査

予算決算委員会

委員長 樋口 敏之

議案第88号

平成28年度茅野市一般会計補正予算(第3号)について



この議案は、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1億4677万1千円を追加し、歳入歳出それぞれ240億351万9千円とするも

の。また、債務負担行為補正の追加2件。

主な歳出

・ふるさと納税寄附金返礼品の見直しに伴い、寄附者が増加したことによる返礼品等に係る経費5千6百万円の補正増。

・生活保護事業の医療費扶助受給者が増加したことに伴う生活保護事業費3千7百万円の補正増。

・小中学校の情報セキュリティ強化対策のために、ネットワーク構築に係る工事費等1707万9千円の補正増。

総務環境委員会

委員長 両角 昌英

議案第74号

諏訪広域公立大学事務組合の設置について



この議案は、諏訪広域公立大学事務組合を設置するにあたり、組合規約を定めるためのもの。施行日は、組合設立の許可の日。

問 「各市町村から選出される議員数の考え方は。」

答 「議員数は、均等割りです。各市町村から2名ずつとした。加えて、市はプラス1名、さらに大学所在地の茅野市はプラス5名で合計20名とした。全体数は諏訪広域連合議会の議員数22名より少なくした。」

【討論】 ●反対意見

「諏訪東京理科大学の公立化には賛成だが、諏訪圏の広域的な課題には広域連合が組織されており、広域連合の方がより良い運営ができると考えるため、一部事務組合を作ったの公立化には反対。」

請願2

自衛隊の南スーダンでの「駆けつけ警護」任務の閣議決定を撤回し、撤回を求める意見書の提出を求める請願



採択の意見

「自衛隊はPKOではなくPKFF平和維持軍として行っている。PKOの5原則を変えることなく、閣議決定で派遣することは法律違反である。権限外のことを内閣が決定し、自衛隊が危険な任務を与えられている。法整備が整っていない中で自衛隊派遣であるため請願に賛成する。」

不採択の意見

「外交・防衛は茅野市議会の権限外のこと、南スーダンの実態がPKOに合っているのかどうか判断する材料を調査する権限もない。そのため意見書を出すことには反対。」

経済建設委員会

委員長 伊藤 勝

議案第76号

公の施設の指定管理者の指定について(茅野市白樺湖温泉総合施設)



この議案は、地方自治法の規定により、公の施設の指定管理者を指定するため、議会の議決を求めるもの。茅野市白樺湖温泉総合施設の指定管理者は、茅野市総合サービス株式会社。指定の期間は、平成29年4月1日から平成34年3月31日まで。

問 「公募の際、申請者から施設への入館者数を増やす提案はあったのか。」

答 「現在、白樺湖周辺のジョギングロードの整備が進んでおり、ランナーの練習等の拠点として施設が利用できるような仕組みを提案いただいている。具体的には、施設内で着替えをし、トレーニング後、入

浴できるようにする。」

議案第87号
茅野市水道事業給水条例の一部を改正する条例について



この議案は、茅野市上水道及び鵜科白樺湖上水道の統合並びに水道料金の改定を行うためのもの。

施行日は、平成29年4月1日。

問 「料金改定の理由は。」

答 「料金改定の理由は、①高料金による水道離れを防ぐため。②諏訪管内において、大口の料金が最も高いのは茅野市であるため、近隣市町村との格差を考慮し、料金の見直しを行う。③利用者間の負担のバランスに考慮し、大口の料金体系の見直しを行う。以上3点である。」

福祉教育委員会

委員長 松山 孝志

議案第83号

茅野市学童クラブ条例の一部を改正する条例について



この議案は、学童クラブ利用料に

ついて、多子世帯等に対する減免措置を講ずるためのもの。

世帯において、同時に2人以上の児童が学童クラブを利用する場合、2人目の利用料を半額、3人目以降を無料とする。

施行日は、平成29年4月1日。

問 「利用料の減額は、どのように検討したのか。」

答 「他市の実施状況を参考にした。」

陳情11
介護保険の給付縮小・負担増を中止し、充実を求める意見書の提出を求める陳情書



採択の意見

「今後、介護保険料の増額が予測される中、政府の財政措置を求め、陳情に賛成する。」

不採択の意見

「陳情提出後の平成28年12月9日に社会保障審議会介護保険部会より、介護保険制度の見直しに関する意見が発表され、利用料2割負担の対象者を拡大すること、要介護1、2の通所介護を市町村が実施する総合事業に移すことなどが見送られたため、

陳情に反対する。」

陳情12
次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書の提出を求める陳情書



採択の意見

「茅野市の平成27年度住宅改修補助件数は179件である。改修にあたり全額自己負担は厳しく、また、現在のサービスを維持してほしいので賛成する。」

陳情13
テニスコート使用の通年券制度の実施を求める陳情書



採択の意見

「通年券制度の問題が解決へ進むと思われるので陳情に賛成する。」

不採択の意見

「陳情者の心情は十分理解するが、この件について市側へ聴き取りする中で、真摯に対応をしていくよう伝えていた。昨年度の条例改正において、通年券廃止を含め議決しているため、陳情に反対する。」

陳情14

発達障がい児への学習支援の合理的配慮の提供（主にADHD児）に関する陳情書



採択の意見

「発達障がいを持つ児童・生徒が十分な義務教育を受けられるよう配慮を求める陳情であるため、賛成する。」

本会議における討論

議案第74号
諏訪広域公立大学事務組合の設置について



反対意見

諏訪圏全体で魅力ある大学を作るためには、一部事務組合ではなく広域連合の方が機能面で適している。一部事務組合は書面で通告することにより、2年後に自動的に脱退ができることが地方自治法で規定されているため、諏訪圏全体で魅力ある大学を作ることができなくなる恐れがある。このような脱退は広域連合では認められていない。また、広域連合では、学生にとって魅力あるまちづくりのための施策立案ができる。

これらの理由から、大学公立化は、広域連合で進めることが適当であると考え、この議案に反対する。

議案第78号

茅野市組織条例の一部を改正する条例について



●反対意見

現在の組織の中で企画総務部に属する事務が多く、企画総務部長が大変だからという理由で、部を分けることには反対。部を分けるのではなく部内の充実を図ることで部長の能力を活かしてほしいと考えるので反対する。

●賛成意見

現在求められている行政のあり方や、市民の要望に沿った組織を考えたとき、総務企画部という大きな部を総務部と企画部に分けることは妥当であるため賛成する。

議案第91号

茅野市職員の勤務時間及び休暇等に関する条例及び茅野市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について



●賛成意見

条例改正により、介護休暇の期間を3回に分けて取ることができ、

また、1日の中で時間を定めて取得できるようにすることは非常に良い。しかし、介護離職者ゼロの観点からは、時間を定めて介護休暇を取得した場合、その時間分を無給とするのではなく、有給休暇扱いや一部減額する方向で検討していただきたい。また、職員組合と合意し、より良い制度となることを願い賛成する。

請願2

自衛隊の南スーダンでの「駆けつけ警護」任務の閣議決定を撤回し、撤回を求める意見書の提出を求める請願



●反対意見

外交と防衛は、国の専権事項、国の事務に関することであり、茅野市議会の権限外の事項のため、請願には反対する。

●賛成意見

日本のPKO参加5原則において、紛争当事者間で停戦合意していることをPKO派遣の前提としており、内戦状態が続いている状況において、PKO活動は禁止されている。現状での自衛隊の結集はPKO参加5原則に反している。自衛隊が駆けつけ警護を実施すれば、殺し、殺されること必至である。これは、武力行使を禁じた憲法第9条第1項に違反

する。

この請願は、憲法第9条を守り、憲法に基づく政治を行うことを求める茅野市民の願いの具体化であるため、この請願に賛成する。

陳情11

介護保険の給付縮小・負担増を中止し、充実を求める意見書の提出を求める陳情書



●反対意見

この陳情は平成28年11月9日に提出されている。平成28年12月9日に社会保障審議会介護保険部会より、介護保険制度の見直しに関する意見が発表され、ヘルパーの生活援助や福祉用具サービスを自己負担に切り替えることや、利用料2割負担の対象者を拡大すること、要介護1、2の通所介護を市町村が実施する総合事業に移すことは見送られた。この発表により、陳情の内容が事実と異なるため、陳情に反対する。

●賛成意見

高齢者が生活を営むためには、様々な配慮が必要となり、金銭的な負担も年々増加する。そのため、介護保険について国費の割合を増やし充実を図ることが求められている。要介護者と介護者双方の人権を守るため陳情に賛成する。

陳情13

テニスコート使用の通年券制度の実施を求める陳情書



●反対意見

平成27年12月定例会において、各施設の使用料を改定するための議案第80号が提出され、議案に添付された一覧表の中に、個人使用であっても面貸しになることから、個人使用料(通年券)を廃止したとある。個人使用料の廃止も含めて、茅野市議会として議決している。議会の議決を翻すほどの論理的理由が見つからない。また、体育施設やその運用についての要望は、茅野市体育協会を通じて行うことになっている。今回の陳情はルールを外れ、個人として提出されたものである。茅野市体育協会でありながら、個人として提出されたものを採択すれば、陳情者への側面支援にはなるが、茅野市体育協会の弱体化や崩壊につながると考えるため陳情に反対する。

●賛成意見

陳情は、誰もができる権利である。条例の運用が間違っており、改善が必要であるならば、原点到返ってしっかり議論し、市に意見を伝えることは重要と考えるため、陳情に賛成する。

議案第88号

平成28年度茅野市一般会計補
正予算(第3号)について



●賛成意見

ふるさと納税は、その趣旨から外れた方向へ進んでおり、その仕組みに問題があると感じる。茅野市からもこの制度について疑問を投げかけてほしいという意見を添えて賛成する。

議第8号

介護保険の給付縮小・負担増
を中止し、充実を求める
意見書



●反対意見

社会保障審議会介護保険部会より、介護保険制度の見直しに関する意見が発表され、意見書の内容が現状に沿わないものとなっている。また、金銭的な負担について、高所得者は相応に負担すべきと考えるため、意見書には反対する。

●賛成意見

現在の介護保険料の基本的な料金の月額額は、5350円であるが、再来年からは、千円上がって6千円台となる。さらにその3年後には7千円台になることが見込まれている。現実として介護保険の仕組みは破たん状態である。この仕組みを維持していくためには国庫からの支出が必要であると考えるため、意見書に賛成する。

平成28年12月定例会 請願・陳情 議決結果

番号	表題	趣旨	提出者	議決結果	
				委員会	本会議
請願 2	自衛隊の南スーダンでの「駆けつけ警護」任務の閣議決定を撤回し、撤収を求める意見書の提出を求める請願	自衛隊に南スーダンでの「駆けつけ警護」の任務を課した11月15日の閣議決定を撤回し、また任務が付与された自衛隊を撤収させることを国に求めるもの。	茅野市9条の会	不採択	不採択
陳情 10	陳情書	日本国内全ての原子力発電所の活動を停止し、全ての核燃料を鳥島の地下に埋蔵することを国に求めるもの。	荒木 實	不採択	不採択
陳情 11	介護保険の給付縮小・負担増を中止し、充実を求める意見書の提出を求める陳情書	高齢化が進む中、介護費用を心配することなく、行き届いた介護が保障されることは国民の願いである。また、介護職員が働き続けられる条件整備が求められている。このような中、介護保険制度の給付対象の縮小と利用者負担増の検討を中止し、制度の充実・改善を国に求めるもの。	諏訪地方社会保障推進協議会	採択	採択
陳情 12	次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書の提出を求める陳情書	次期介護保険制度改正における、軽度者に対する福祉用具・住宅改修の見直しについては、高齢者の自立を支援し介護の重度化を予防するなど、介護保険の理念に沿った検討を行うことを国に求めるもの。	諏訪地方社会保障推進協議会	採択	採択
陳情 13	テニスコート使用の通年券制度の実施を求める陳情書	平成28年4月1日に茅野市内各施設の使用料が改正され、これに伴い、茅野市運動公園内の庭球場の通年使用券が廃止された。このため、庭球場の使用料が他市と比べ高額になり、利用にあたり支障をきたしている。そのため、市に対し、使用料見直し前と同様の通年券の発行を求めるもの。	テニス愛好者連絡会議	不採択	不採択
陳情 14	発達障がい児への学習支援の合理的配慮の提供(主にADHD児)に関する陳情書	障がいを持つ児童・生徒が十分な義務教育を受けられるよう合理的配慮を市に対し求めるもの。	戸田 允文	採択	採択

12月定例会の議決結果と各議員の賛否一覧

付託委員会 総…総務環境 経…経済建設 福…福祉教育 予…予算決算
 ○…賛成 ●…反対 ※議長は採決には加わりません。

番号	件名	付託委員会	議決結果	松山 孝志	丸茂 岳人	伊藤 正陽	小尾 一郎	長田 近夫	矢島 正恒	両角 秀喜	両角 昌英	伊藤 勝	伊藤 玲子	樋口 敏之	篠原 啓郎	山岸 正衛	望月 克治	宮坂 武男	北沢 千登勢	小池 賢保
市長 提出 議案	90 茅野市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	73 市道路線の認定について（塚原地籍）	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	74 諏訪広域公立大学事務組合の設置について	総	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	75 公の施設の指定管理者の指定について（茅野市温泉施設）	福	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	76 公の施設の指定管理者の指定について（茅野市白樺湖温泉総合施設）	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	77 公の施設の指定管理者の指定について（茅野市高齢者福祉センター）	福	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	78 茅野市組織条例の一部を改正する条例について	総	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	79 茅野市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	80 茅野市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	81 茅野市税条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	82 茅野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	83 茅野市学童クラブ条例の一部を改正する条例について	福	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	84 茅野市ふれあい保健福祉事業条例の一部を改正する条例について	福	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	85 茅野市廃棄物処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	86 茅野市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	87 茅野市水道事業給水条例の一部を改正する条例について	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	88 平成28年度茅野市一般会計補正予算（第3号）について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	89 平成28年度茅野市水道事業会計補正予算（第1号）について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
91 茅野市職員の勤務時間及び休暇等に関する条例及び茅野市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
報告	10 専決処分の報告について																			
請願	2 自衛隊の南スーダンでの「駆けつけ警護」任務の閣議決定を撤回し、撤収を求める意見書の提出を求める請願	総	不採択	○	●	○	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	○	●	●	
陳情	10 陳情書	総	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	11 介護保険の給付縮小・負担増を中止し、充実を求める意見書の提出を求める陳情書	福	採択	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
	12 次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書の提出を求める陳情書	福	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	13 テニスコート使用の通年券制度の実施を求める陳情書	福	不採択	○	●	○	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	○	●	●	
	14 発達障がい児への学習支援の合理的配慮の提供（主に ADHD 児）に関する陳情書	福	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案	7 意見書案の提出について（地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	8 意見書案の提出について（介護保険の給付縮小・負担増を中止し、充実を求める意見書）		可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
	9 意見書案の提出について（次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

議決日は、12月19日の議会最終日（但し、議案第90号は、11月28日の開会日に即決）



12月定例会一般質問通告一覧

茅野市ホームページから一般質問の録画映像がご覧いただけます。また、同ホームページの『会議録検索システム』より会議録の閲覧ができますので、ご利用ください。

茅野市の課題を問う！

WEBで検索

	件名	要旨
山岸正衛	1 歯科健診事業について	(1) 受診者の状況について (2) 受診率の向上を目指すことについて (3) 周知方法について
	2 温室効果ガスの削減について	(1) 茅野市減 CO2 (げんこつ) 計画の見直しはあるのか (2) 新たな補助制度について (3) 周知方法について (4) クールチョイスについて
小池賢保	3 茅野市の教育について	(1) 教育長が願う茅野市教育のキーワードについて (2) 子どもの命を守る危機管理教育及び対策について (3) 生涯学習について (4) 学校と地域連携について (5) 制度改革後の教育委員会について
北沢千登勢	4 母と子どもの健康を守る事業について	(1) 産後ケア事業の推進 (2) 健診・予防接種事業に携わるスタッフの処遇改善 (3) 学校トイレの洋式化
	5 公の施設の管理運営について	(1) 保育園と学校の給食調理業務の委託について (2) 体育施設の管理運営について (3) CHUKO らんどチノチノの管理について
矢島正恒	6 第5次茅野市総合計画策定に向けた、公民協働・パートナーシップによる地区コミュニティの更なる充実と推進について	(1) 地域の課題解決に向けた地区コミュニティのあり方について (2) 地区コミュニティの活性化に向けた組織について (3) 地域の創意工夫による活動への予算づけ (地域振興推進費 (案)) について
	7 学習指導要領の改訂による、幼児期の「外国語あそび」及び学齢期の「外国語教育」について	(1) 保育園における「えいごあそび」について (2) 小学校における「英語教育」について (3) 中学校における「英語教育」について
伊藤正陽	8 平成29年度の学校教育について	(1) 小中一貫教育について (2) ICT教育について (3) 小学校での英語教育における教員の配置について (4) 子どもたちが健やかに育つための環境づくりについて (5) 教員の多忙化解消に向けての取組について
	9 4月から始まる介護予防・日常生活支援総合事業について	(1) 介護予防・日常生活支援総合事業の茅野市の取組について (2) 介護認定で要支援者が十分に支援してもらえる体制について (3) 今年度から制度化された生活支援コーディネーターの位置づけについて
両角昌英	10 子どもたちの安心安全を守る施策について	(1) 家庭における防災教育と保育園や学校で行っている防災教育について (2) 指定されている避難所の安全確認について (3) いつでも集中的に防災教育ができる施設について (4) 幼保小中連携した交通安全教育について (5) 通学路の交通安全対策について
丸茂岳人	11 市内電柱地中化事業の取組状況について	(1) 市内の電柱地中化の進捗状況と今後の予定について (2) 本町まちづくりに絡めた電柱地中化事業の可能性について
	12 高齢者の交通事故減少に向けた取組について	(1) 高齢者の運転免許保有状況について (2) 高齢者の運転免許返納に向けた取組について (3) 被害者減少に向けた取組について (4) 高齢者の公共交通利用促進について
伊藤玲子	13 新しい日常生活支援総合事業への移行について	(1) 新しい総合事業への移行に対する見解について (2) 総合事業への移行は、市民や事業者の不安を与えないよう丁寧な説明が必要と考えるが、その方策について (3) 生活支援コーディネーターの役割・期待することについて (4) 地域支援事業による新事業の創出や住民参画の地域づくりについて
	14 ボランティア・市民活動に関する補助金について	(1) 補助金交付の現状について (2) 検討が必要とされる課題等について (3) 補助金の使い方・有効性・公益性などの検証について (4) 補助金制度の見直し・創設について

12月定例会一般質問通告一覧

	件名	要旨
伊藤勝	15 平成29年4月の市の組織改編について	(1) 部、課を増やす理由について (2) 市民への説明について (3) 市の将来のビジョンについて
	16 中山間地域等直接支払制度の運用について	(1) 現状の中で問題点はあるか (2) 新たな制度協定の動きはあるか (3) 対象農用地の基準緩和の考えはあるか
両角秀喜	17 茅野市開催イベントの継続と連携について	(1) 茅野どんぼんの継続と連携について (2) 八ヶ岳縄文の里マラソン大会の継続と連携について (3) 蓼科高原映画祭の継続と連携について
宮坂武男	18 市内道路の改良状況と都市計画道路の整備進捗状況について	(1) 市内道路の改良状況と現状について (2) 都市計画道路の整備進捗状況について
長田近夫	19 災害発生時における避難所運営について	(1) 避難所運営マニュアルについて (2) 避難所設営の訓練について (3) 避難所支援班の組織について (4) 公衆無線 LAN の設置について
	20 自動体外式除細動器 (AED) の設置と運用について	(1) AED の設置場所と運用状況について (2) 貸し出し用 AED について (3) 市内小中学校における AED 操作方法の講習について
望月克治	21 茅野市の障がい児教育について	(1) 障がいを持った子どもが能力に応じて教育を受ける権利をどのように考えていますか (2) 障がいを持った子どもがひとしく教育を受ける権利をどのように考えていますか
	22 高齢者が住み慣れた地域で暮らすための施策について	(1) 特養の入所条件の変更で待機者から外れた方は何人ですか (2) 特養入所者で、補足給付の対象から外れて負担が増えた方は何人ですか (3) 介護難民を生まないための検討は進んでいますか
	23 人事院勧告そのままの茅野市職員の給与の改定について	(1) 国家公務員と茅野市職員の手当等、勧告の内容はそのまま茅野市に当てはめられますか (2) 人事院勧告に沿って行われてきた過去の改定で、職員と民間の給与の差は埋まっていますか

平成23年の東日本大震災以降、市民の防災意識の高まりを受け、防災拠点として、合併特例債を活用し整備した。高機能消防指令センターであり、災害時の住民の避難場所もセンター内に確保している。また、防

消防防災センターについて

愛媛県四国中央市

実施日 平成28年10月26日(水)から
10月28日(金)まで

環境視察 行政視察 総務委員会

(参加者)

委員長 両角 昌英
副委員長 矢島 正恒
委員 小尾 一郎
委員 望月 克治
委員 宮坂 武男
委員 小松 一平

詳細は…

茅野市
ホームページ



茅野市議会



行政視察報告

に掲載してあります
のでご覧ください。

行政視察報告

市議会では、市政の発展と向上のため、常任委員会ごとに視察目的を定め、先進的な取り組みをしている自治体等を訪問し研修を受けています。

◎茅野市での展開は
茅野市の災害対策本部は市役所庁舎内に設置され、消防署とは地理的に離れた場所にある。また、災害時の備蓄品は耐震補強のない倉庫に保管されている。
四国中央市の消防防災センターは、最新の設備で市役所の隣地に設置されており、災害時にはその機能は十分に発揮されると思われた。事業費の問題はあるが、茅野市でも免震構造を有した防災センターの建設は必要であると感じる。

エグゼクティブマニフェスト

四国中央市は、茅野市と同様に、



消防防災センター内に設置されている、防災学習センター

災害教育コーナーを設け、住民に災害の恐ろしさを教育している。

平たん部が少なく、幹線道路が整備されていない地域が多い。

四国中央市では、デマンドタクシーを導入している。導入経費として約3千7百万円かかり、そのうち県から約千2百万円の補助があった。これまで路線バスに年間4千万円補助していたが2千百万円に減額し、デマンドタクシーに3千2百万円補助している。費用は増大したが市民の利便性を優先した。

◎茅野市での展開は

目的地まで送り届けてくれるデマンドタクシーは、路線バスが運行されていない地域では有効である。市の支援が不可欠であるが、市内をエリアに分けたエリア内運行は参考にすべきである。

■愛媛県西条市

地域創生のための総合6次産業都市の実現による地域産業活性化について

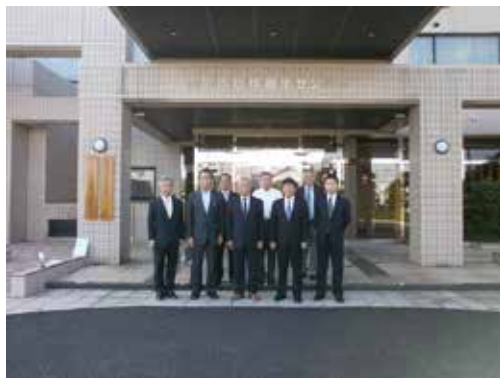
西条市は、地方創生のモデル事業に認定されている。地域再生計画の調査研究や、愛媛大学や金融機関と連携した総合6次産業都市である。

西条市は、6次産業化事業により、産業振興・雇用創出の「しごこの創生」と人材育成の「ひとの創生」、

移住定住促進の「まちの創生」に取り組んでいる。

◎茅野市での展開は

農業界と経済界の連携及び産学官金の連携の実現が、地域産業の活性化に非常に大きな力になる。諏訪東京理科大学に設立された先進農業エネルギー理工学研究部門での研究が、地域産業の活性化と結びつくことを期待したい。



西条市 地域創生センター 視察

■愛媛県松山市

環境モデル都市について

「環境モデル都市まつやま」を指し、「松山サンシャインプロジェクト」に取り組んでいる。その内容

は、①松山サンシャインプロジェクト推進②スマートコミュニティの推進③歩いて楽しい健康増進のまちづくりの推進④地域循環システムの推進の4つの柱で構成されている。市内体制では「環境モデル都市まつやま推進本部」を設置。環境に関する知識や技術を持った産学民官が集まり、情報の共有をして推進するために、「環境モデル都市松山推進協議会」を設立、双方が両輪となり事業を進めている。

◎茅野市での展開は

観光資源を守りながら環境モデル都市を維持する取組は茅野市でも参考にしなければならない。太陽光発電にしても、発電するだけでなく蓄電設備にも補助することで、より少ない装置で自然エネルギーを活用できるので、今後補助対象の拡大が求められる。

建設会
政 視
建 政
員 視
政 政
委 委
行 行

- (参加者)
- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 伊藤 勝人 |
| 副委員長 | 丸茂 岳 |
| 委員 | 角 秀喜 |
| 委員 | 樋口 敏之 |
| 委員 | 篠原 啓郎 |
| 委員 | 山岸 正衛 |

実施日 平成28年10月11日(火)から

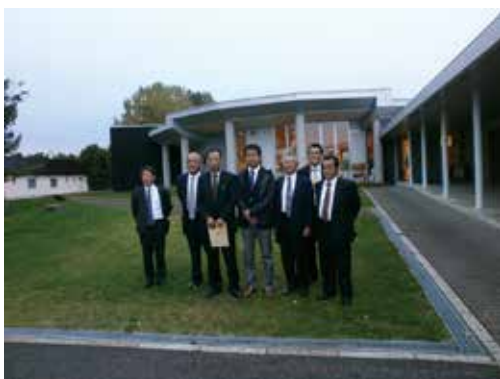
10月13日(木)まで

北海道剣淵町
絵本「よめるまちのつくりかた」

北海道の中ほどに位置する剣淵町は映画「じんじん」で有名なまちである。主要産業は農業であり、合併せずに独自の道を歩んでいる。人口減少に悩み、人口3千人の維持を目指しているが、剣淵町は「絵本の町 剣淵」を全国に発信し、地域の活性化や移住の促進、雇用の拡大につなげている。

◎茅野市での展開は

茅野市は、読み聞かせは全国に先駆けているものの、絵本を使つての展開としては、縄文プロジェクトの中で縄文文化の発信等できないか検討の余地はあると考える。



剣淵町 絵本の館 視察

■北海道旭川市

「まちなか交流館」について

まちなか交流館は、旭川駅から続く歩行者専用道路の途中に位置している。郊外に大規模店が出店し、中心市街地の衰退が進む中、往來の賑わいを創出するため、ひと・もの・情報の交流拠点として「まちなか交流館」が設置された。商店街の活性化、市民と観光客の交流の拠点で、誰もが気軽に立ち寄れる場所である。しかし、観光客は必ずしも利用しやすくない状態になく、主に地域住民の交流の場となっている。



旭川市まちなか交流館 外観

◎茅野市での展開は

若干方向性の相違はあるが、今後

「ゆいわーく茅野」に、旭川市のまちなか交流館のような、地元の商品などの地場産物の販売及び情報発信ができる機能が備われば、より市民との協働が広がると思う。



■北海道東川町

「株主制度」及び「移住・定住事業」について

「株主制度」はふるさと納税のことである。今はやりの返礼品の競争ではなく、東川町が進める四つの事業を応援する制度（寄付）である。返礼品目当てでなく、純粋にまちを愛する人から投資（寄付）を受けている。

また、「移住・定住事業」にも力を入れており、農業・商業・工業・観光すべてに渡って国の補助金を活用している。その結果、近隣では唯一、人口増に転じている。

◎茅野市での展開は

東川町は、旭川市のベットタウンでもあり、位置的に恵まれているが、人口増の要因はそれだけではないと感じた。町として積極的に事業に取り組んでいる。茅野市においても大いに参考にすべきと考ええる。

教育委員会 教員視察 福祉行政 福委行

(参加者)

委員長	山田 孝志
副委員長	藤田 近夫
委員	伊藤 正陽
委員	伊藤 玲子
委員	北沢 登勢
委員	小池 千賢

実施日 平成28年10月12日(水)から

10月14日(金)まで

■岩手県陸前高田市

災害時における生活弱者対策について

陸前高田市は、東日本大震災からの復興を進めている。災害時における生活弱者対策の実践例など、大きな災害を受けた市の事例を調査し、茅野市における「自助・共助・公助」の取組の強化、地域の力を引き出す災害に強い支え合いのまちづくりの取組に役立てる。

◎茅野市での展開は

①姉妹都市や近隣市町村との連携強化が必要。

②「自分の身は自分で守る。」災害直後は公助に頼ることは困難。避難所運営もマニュアルはあまり意味なく、住民自らが状況に応じて考え行動する意識の醸成が必要。

③平常時の地域のつながり、支え合

い、コミュニケーションの構築の旗振り役が行政の使命と感じた。
④被災者台帳を作成して「被災者支援システム」の早期導入・運用が必要。

医療介護の連携について

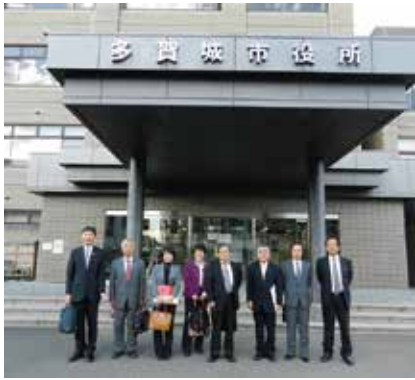
陸前高田市は、地域包括支援ネットワーク構築のために「顔の見える関係」から、「心の見える関係」作りを進め、在宅支援ネットワークにつなげている。

◎茅野市での展開は

茅野市は4保健福祉サービスセンターの機能の見直しと充実、また、「生活コーデイネーター」の役割の明確化と職責発揮が必要と思われる、高齢化社会に対応できるように在宅



陸前高田市 視察



多賀城市 視察

医療介護連携推進の取組を進めなければならぬと感じた。

■宮城県多賀城市

日常生活支援総合事業について

茅野市では、新しい介護予防・日常生活支援総合事業を平成29年4月スタートに向け構築中である。

既に、平成28年度からサービスをスタートしている多賀城市では、地域支援事業として総額6千万円をかけたいきいきシニアの介護予防活動促進事業、介護支援ボランティアポイント事業、短期集中予防サービス等の新しいサービスに取り組んでいる。

◎茅野市での展開は

多賀城市のように、事業についての講演会や地域・各種団体などへの

説明会等を丁寧にしていくことが大切と感じた。

また、多賀城市では地域づくりの推進を視野に入れて活動する「地域生活支援コーディネート」を、各包括支援センターの責任者がやっているということは、参考にすることが多いと感じた。

■福島県福島市

中学生ドリームアップ事業について

本事業は15年間継続されており、8年前には文部科学大臣賞を受賞している。中学1年生の事前学習、中学3年生の事後学習で系統的・計画的な活動を展開し、望ましい勤労観・職業観を育て、生徒一人ひとりが将来に向けての「夢」と「志」をもち、力強く自己実現を図ることを目指した事業である。

◎茅野市での展開は

茅野市においては、体験学習期間の拡大を市全体の事業として位置付け、家庭・地域・学校が一体となった方向付けが必要と感じた。

また福島市は、この活動に対してのアンケートを実施しており、役立ったという回答は全体の74%もあり、教育効果として大きなものを感じた。

議員連盟の活動

エゴマの試験栽培に協力（エゴマの収穫 平成28年10月31日）
【健康へ農業と観光をつなげる議員連盟】



茅野市はシカの食害に苦しむ中山間地の転作物としての可能性を探るため、今年度、エゴマの試験栽培に取り組みました。

茅野市農業支援センターが主体となり、種まきから収穫まで、標高1千メートル前後の山際にある農地でエゴマを栽培し、作業性や収益性を検証する事業に、「健康へ農業と観光をつなげる議員連盟」の議員が参加し協力しました。

茅野市農業支援センターが事前に準備した苗を6月下旬に北山2カ所の農地に定植し、順調に生育したものを10月末に汎用コンバインを使って収穫

しました。エゴマはシソ科の植物でエゴマ油が健康食材として注目されているとともに、ニホンジカが食べないとされることから、中山間地の遊休農地対策として注目されています。また、エゴマの選別は、従来から異物の除去に手間がかかりましたが、エゴマ専用の選別機により、良質なエゴマが予想以上に収穫できました。

茅野市では、今後、エゴマは縄文時代に食べられていた食材でもあり、利益を考えるのではなく、「縄文プロジェクト」の切り口とし、子どもたちの縄文学習にも活用したいと考えており、選別機導入を課題の一つとしています。



エゴマ専用選別機

議員連盟の活動

静岡県富士宮市視察（平成28年10月31日～11月1日） 【買い物弱者問題等検討議員連盟】

富士宮市は人口約13万人の都市ですが、平成17年度に「財政危機宣言」を発令し、職員給料を5年間大幅カットするなど、財政健全化に向けて徹底的に事業のスクラップ&ビルドを展開してきました。

当初予算0ベースという厳しい状況下で、市民の生活の足を守り持続可能な公共交通システムとして導入されたのが、コミュニティバス「宮バス」とデマンド乗合タクシー「宮タク」です。私たちは「宮バス」「宮タク」の成果と有効性を調査し、茅野市での展開の可能性について検証していきます。今後議論を重ねて議員連盟としての方向性を打ち出した上で、検証の結果を議会だよりで報告いたします。ご期待下さい。



●「宮バス」の特徴

- ①少ない予算で、より多くの住民の生活の足を確保する。
- ②事業者が地域貢献として公共交通を支える仕組み「バス停オーナー制度」を導入し、安定的な収入の確保を図る。
- ③行政や交通事業者のみならず、地域住民やバス利用者が「自らの公共交通の構築」という意識を持つ。

バス停オーナー制度とは

- ・バス停ネーミングライツ（命名権）を導入し、バス停名はオーナーの名称とする。
- ・バス停をオーナー事業所の前に設置。
- ・バスの車内放送でオーナーの事業所紹介。



●「宮タク」の特徴

- ①交通空白地の住民の生活の足を確保する。
- ②市内タクシー事業者と契約し、既存タクシーとオペレーションを利用する。
- ③ドア to ドアで自宅まで送迎。
- ④運行時間を絞込み、乗合を促進し、運行ロスをなくす。

編集室より

平成28年4月の山出し、5月の里引きと、諏訪大社式年造営御柱大祭に訪れた観光客は上社山出しに43万7千人、上社里引きで33万6千人。下社の御柱祭も含めると、諏訪地方を訪れた観衆は157万2千人となりました。諏訪地方の経済が潤った年でした。

また、平成28年1月には沖縄県那覇市で観測史上初めての雪を観測し、8月にはやはり観測史上初となる、3つの台風が東北地方から北海道に上陸し、北海道では農作物に甚大な被害が発生しましたが、人的被害に至らなかったのが幸いです。温暖化が急激に進んでいると感じられる年でもありました。

ちの市議会だより第20号は、各常任委員会の行政視察の報告を載せましたが、紙面の都合上、簡単にまとめてありますので、詳しくはホームページでご覧いただけたら幸いです。今後とも、議会活動が皆様に伝わるような充実した紙面づくりに努めます。

議会広報部会
山岸正衛

